

星薬の魅力
ピックアップ!

星薬科大学と学外機関との連携・ 交流について

星薬科大学は、国内外の大学・研究所との連携・交流を通して、医療および薬学の発展に努めています。

ここでは、星薬科大学と学外機関との連携について紹介します。

これまでに、**順天堂大学**、**東京慈恵会医科大学**、**日本医科大学**、**山梨大学**などと協定を結んでいます。それぞれの医学部付属病院で、5年次の病院実習が実施され、アドバンスト講義では医学部の先生による講義を受講することもできます。

このような教育を受けることにより、知識の定着やスキルアップを目指せます。

また、特定の目的のもと、他大学と連携して様々な取り組みを行っています。

薬学教育研究の連携

京都薬科大学、**明治薬科大学**と薬学領域の教育研究の連携に関する協定を締結し、より一層薬学領域の教育研究を充実させるとともに、社会に対して一層貢献できるように取り組んでいます。

工学・医学・薬学の異分野連携

電気通信大学、**順天堂大学**と**星薬科大学**の3校が連携することで、工学、医学、薬学という異分野を融合させた研究の発展を目指しています。

がん医療人の養成

東京慈恵会医科大学、**昭和大学**、**上智大学**と、4大学連携「がん医療人養成コース」に関する協定を締結し、がん医療に特化した人材の育成と教育・研究協力を行っています。

国立がん研究センターとの包括連携協定

国立がん研究センターと協定を締結し、がん医療・研究を支える薬剤師を養成するとともに、共同でがん研究の発展や治療法の確立を目指しています。

今回は、**国立がん研究センター**との包括連携協定について紹介します。

星薬科大学と国立がん研究センターとの 包括連携協定に基づいた教育・研究交流について



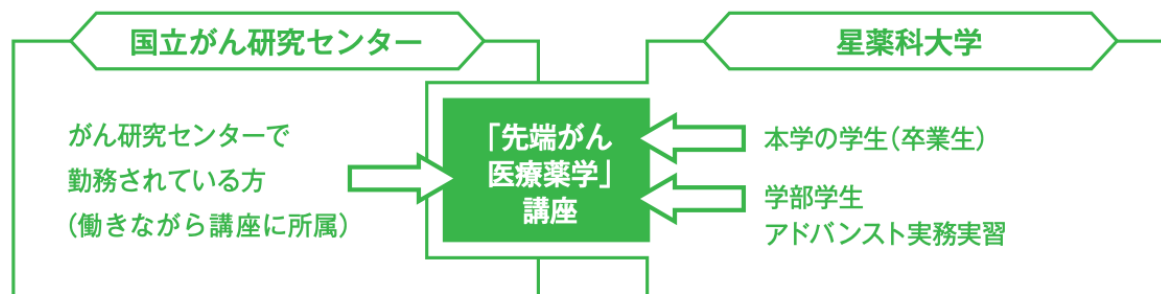
国立研究開発法人国立がん研究センターと本学は、研究・教育・医療活動の連携を促進する包括連携協定を2018年7月25日に締結しました。これまでも、薬学の観点から適切ながん治療に向けた多くの共同研究を行ってききましたが、それをさらに前進させ、我が国が直面している超高齢化社会を克服するための新規がん治療法の開発およびがん支持療法の発展を目指します。

【本協定の特徴】

研究者や薬剤師・医師をはじめとする他医療職などの幅広い職種間での連携を図ることで研究・教育の発展と、それに携わる若手の育成に両施設が取り組みます。

研究・教育のコラボレーション

- 共同研究の強化
- 国立がん研究センター研究所所属職員
および中央病院薬剤部所属薬剤師の
キャリアサポート体制の構築
- 星薬科大学教員の研究スキルの向上
- 学生派遣によるがん専門薬剤師の養成



がん医療について学び、がん研究を推進するために、 国立がんセンターと星薬科大学が協力して実施するプログラムがあります



連携大学院

この制度では、国立がん研究センターの職員が、国立がん研究センターに籍を置きながら、国立がん研究センター内で星薬科大学大学院薬学研究科博士課程の授業科目の単位を取得可能とし、国立がん研究センターで行った研究成果をもって学位を取得できます。

連携講座

国立がん研究センターにおけるがん治療やがん研究について学ぶことができます。

【がん治療・緩和医療特別講義】

星薬科大学主催の認定薬剤師研修講座内で開講されます。薬剤師を対象としていますが、本学の学生（5, 6年生）や大学院生も受講できます。

【臨床研修（アドバンスト実務実習）】

薬学科5年次の薬局・病院実習を終えた学生が参加できるプログラムです。国立がん研究センター中央病院にて実習を行い、最先端のがん治療戦略や薬剤師の職能、チーム医療について総合的に学習します。



2020年より星薬科大学薬理学研究室の成田年教授が、 国立がん研究センター研究所の分野長に就任（兼任）しました

2020年4月に、本学薬理学研究室の成田年教授が、国立がん研究センター研究所・がん患者病態生理研究分野の分野長に就任しました。成田教授を中心として、今後ますます国立がん研究センターと星薬科大学との連携が推進し、適切ながん治療やがん緩和療法の確立を目指した研究が展開されることが期待されます。

国立がん研究センター研究所
がん患者病態生理研究分野 分野長 成田年

本研究分野（研究室）では、近年のがん治療の向上により、がんサバイバー人口が年々増加していることから、がん患者個々のがんとの共生におけるQOL向上に視点を設けた次世代型のがん支持療法およびがん緩和医療の確立のための包括的がん病態（基礎）研究を中心に展開する。

研究プロジェクト

- ・ 包括的がん支持療法の基盤となる疾患複合型がん病態研究
- ・ 末梢-脳連関を基盤とした神経連関腫瘍解析
- ・ 個別がん病態薬物治療の確立に向けたトランスレーショナルリサーチ
- ・ 全身性痛みネットワークの解析
- ・ 鎮痛薬の細胞分子薬理学的研究
- ・ ヒトゲノムデータベースを利用した神経疾患特異的免疫変動の解析

